

道徳の教科横断的授業の一例 ①

関連する教科書単元

道徳 1 学年 単元名「**ぼくの あさがお**」 国語（光村） 1 学年 単元名「**おおきく なった**」

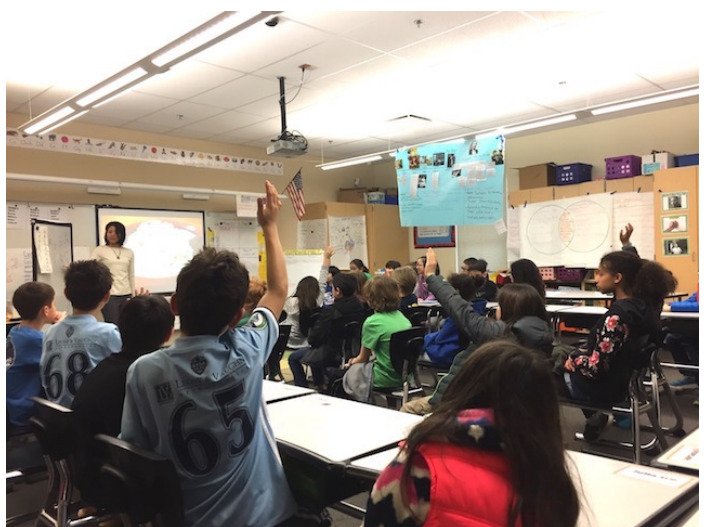
道徳 2 学年 単元名「**元気に育て、ミニトマト**」 国語（光村） 2 学年 単元名「**かんさつ名人になろう**」

1 年 2 年複式授業	単元名	よく見て、しっかり考えて、かんさつ名人になろう！	4 時間
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・道徳：身近な自然に親しみ、優しい心で動植物の世話をしたり、接したりする態度を育てる（自然愛護） ・国語：丁寧に観察した観点を上学年と下学年の関わりを通じて、協働しながら学び合う姿勢を育てる。 ・複式：異学年間での協力や、認め合う態度を培いながら学習の理解を深める。 		
日本語の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・メモをもとに、順序や書き方の観点を絞って言葉や文章で詳しく表現する。 ・事実を正確に理解し伝達するために、観察したことや感じたことを記録し、整理して発表する。 		
学習課題	1年 よく見て、くわしくかこう。 2年 かんさつ名人になって、書いて知らせよう。		
主な学習活動	<ul style="list-style-type: none"> ・観察したことをメモに詳しく記録し、順序や書き方のポイントに気をつけて的確な観点を文章に表す。 ・読み手に伝わるように書けているか読み返したり、友達と読み合っ互いの工夫点を探したりする。 		

学習活動計画

時限	内容	活動	ポイント
1	導入「道徳教材」 学習課題をつかむ 学習計画を立てる	道徳「 ぼくの あさがお 」「 元気に育て、ミニトマト 」 主人公の心情と自分の経験を重ねて考えたことを発表する。 めあて かんさつ名人になろう ●単元の学習課題をつかむ 「よく見て、しっかり考えて、かんさつ名人になろう！ ・生活科で育てている植物の様子を想起し、「かんさつ名人になるために、ていねいにかんさつし、気づいたことをきろくしよう」という学習課題を設定し、学習の進め方を確認する。 1 どんな観点で植物を観察したら良いかを出し合う。 2 教科書の二つの作例から書き方の共通点・相違点を探す。 3 観察記録のメモの取り方を知る。	<ul style="list-style-type: none"> ・道徳教材を読み、自然や動植物を愛し、自然環境を大切にする気持ちや自然と仲よく暮らすことの大切さについて考える。 ・教科書にない観点を見つけたら発表し、クラス全体で共有する。 ・意欲的に書けるように、作文を書く前に、「作文メモ」の工夫を提示する。
	家庭学習課題	教科書を読み、観察記録を書く時に大切なことを整理する。	音読学習

2	学習課題をつかむ 観察記録を書く。	めあて かんさつしたことや感じたことを記録してみよう ●メモをもとに、順序や書き方のポイントに気をつけて書く。 ・観点を絞って詳しく書き、記録分に題名を付ける。 ●生活科で学習したことなどを参考に、観察するものを決め、イラストや吹き出しも加え、観察記録文を書く。 ・知らせたいことを決め、五感を使って、細かく観察して必要な事柄を集めて書いている	・見たこと、聞いたこと、においなどの違いなど観察して気づいたことをメモに取り整理する。 ・五感のどの部分に当たるのか押さえる。
	家庭学習課題	書き終えられなかった記録文を仕上げる	
3	学習課題をつかむ	めあて かんさつ名人をさがしてみよう 全ての記録文を教室に掲示し、みんなで相互評価をして、友達の表現の中で、自分が良いと思った工夫を話しあう。 ・観察の観点や書き方について助言し合う。 ・読み手に伝わるように書けているか読み返す。 ・友達の記録文を読み合い、様々な観点から観察する事で、様子を詳しく記録できることを確かめる。	・それぞれの表現や視点のおもしろさを探して、認め合う交流の時間を設ける。
	家庭学習課題	友達の作品のよく観察できているところ、よく表現できているところを参考に、自分の観察記録文を書き直す。	・海外子女文芸作品コンクール出品へ



道徳の教科横断的授業の一例 ②

関連する教科書単元

道徳 「よりよい学校生活と集団生活の充実」「国際理解」「節度 節制」

国語（光村）5 学年 単元「次への一歩 活動報告書」

5 年	単元名	より良い学校生活を送るためにできることを提案しよう！！	4 時間
単元の目標	道徳： 外国の人々や文化を大切にすると日本人としての自覚をもって世界の人々との親善に努める。 よりよい学級や学校をつくと共に、集団の中での自分の役割を自覚して集団生活の充実に努める。 安全や生活習慣の大切さについて理解し、自分の生活を見直し、節度や節制を心掛ける。 国語： 提案書の「構想」「記述」「推敲」の学習を進めていくための手だてを知る。		
日本語の目標	<ul style="list-style-type: none"> 自分の意見を明確に表現するために、提案書の構成や集めた材料の構成を考える。 より分かりやすく、説得力のある提案書の書き方を学ぶ。 		
学習課題	<ul style="list-style-type: none"> 日米の学校生活を比べて考えたことを整理して発表しよう 日米の学校生活の体験を基に事実と感想を区別して、活動報告書を書こう。 		
主な学習活動	<ul style="list-style-type: none"> 日米の小学校の比較を通して、相違点から気づいたことを整理する。 活動報告書のモデル文を活用して事実と意見とを区別して書き表す。 提案書の下書きの文例と推敲後の提案書を比較したり、友達と助言し合ったりして、表現の仕方を見直す。 		

学習活動計画

時限	内容	活動	ポイント
1	導入「道徳教材」 学習課題をつかむ	道徳内容項目「よりよい学校生活と集団生活の充実」 <ul style="list-style-type: none"> 日米の小学校生活の資料を比較し、自分の経験を重ねて考えたことを整理してまとめる。 授業前の挨拶：清掃活動：給食の配膳片付け：食前食後の挨拶：上履き外履きの区別など、学校活動の意義や目的を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> 相違点を探し、意見や考えた理由をワークシートに記述。 課題を探し、意欲を持って提案できるよう学習課題を提示する。
	家庭学習課題	教科書「次への一歩 活動報告書」を音読しながら、報告書の構成について整理する。	音読練習
2	学習課題をつかむ 学習計画を立てる	めあて より良い学校生活を送るためにできることを提案しよう ●単元の学習課題をつかむ 「説得力のある提案の仕方を考えよう」	作文目標 <ul style="list-style-type: none"> 学年段階に即した一文の長さ 修飾・被修飾語を正確に使用 主語・述語が照応

		<ol style="list-style-type: none"> 1 教科書の「活動報告書の構成」を確認し、作例の構成要素を確かめる。 2 報告書の構成にあわせて、報告に必要なことを考え、提案のための材料を集める 3 小見出しの付け方、説明のしかた、事実と考えの書き方など注意して読み、自分の報告書の書き方を考える。 4 構成メモを作り、報告する活動内容を決める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・略述と詳述の使い分け ・文体の統一 ・時間的・空間的順序の整理 ・事実と意見の使い分け ・叙述に即した接続語の使用 ・書き出しと結びの照応 など
	家庭学習課題	構成メモをもとに報告書の下書きを作成する。	作文学習
3	学習課題をつかむ 報告書を書く。	<p>めあて 説得力のある報告書を仕上げよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 活動報告書の構成を理解し、型に沿って必要な内容を書く。 <ol style="list-style-type: none"> ① 提案書のモデル文から提案書の構成や内容、ポイントを確認。 ② 説得力をもたせるための技として表・グラフ・図解の活用。 	提案書モデル文や書き方の手引きをもとに、記述の観点を示す。
	家庭学習課題	書き終えられなかった記録文を仕上げる	・海外子女文芸作品コンクール出品へ



道徳の教科横断的授業の一例 ③

関連する教科書単元

道徳 国際交流 異文化理解 国際親善

コミュニティ・スクール活動 地域と共にある学校作り

国語（光村）1年「じどう車くらべ」 2年「おにごっこ」 3年「食べ物の秘密」

4年「だれもが関わりあえるように」 5年「一枚の絵から」

体育 6年「ドッジボール運動」

全学年	単元名	現地校マクドナルド小学校との交流活動：学習発表会	4時間
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・国語 その場の状況や目的に応じた適切な音量や速さ、言葉の調子や、間の取り方などに注意する。表や作品を効果的に提示したりしながら発表することができる。 ・体育 ボールなどの遊具を使って投げる運動に進んで取り組む。助け合って運動したり、場や用具の安全に気を配ったりする。 ・道徳 他国の人々や文化について理解し、日本人としての自覚をもって国際親善に努める。 		
日本語の目標	発表の仕方（低学年）知らせたい事を、相手がわかるように事柄の順序を考えて話す。 （中学年）伝えたい事を筋道立てて、相手にわかるように図や写真表を示しながら話す。 （中学年）自分の考えや意図が的確に伝わるよう工夫し、目的や場に応じて適切な言葉遣いで話す。		
学習課題	日本のことを伝えよう！ 文化・言葉・わたしたちが学んだこと。		
主な学習活動	① マクドナルド小学校の5年生6年生に、今までの学習内容を発表し、意見交換をする。 ② 日本式の授業を現地校の5年生と6年生に紹介し、日本の国語と体育の授業と一緒に参加する。		

学習活動計画 *「発表会プログラム」一時間目から順に、現地校の児童が各学年の授業に参加できるように時間割を組む。

時限	内容	活動	ポイント
1 国語	1年「じどう車くらべ」	それぞれの車の「しごと」「つくり」の説明を書いて仕上げた「じどう車カード」を各自で紹介する。 *消防車、パトカー、給油車、救急車等働く車の構造	じどう車カードに描いた自動車の絵を見せながら、車種や構造が分かるように発表する。
	3年「食べ物の秘密」	すがたを変える食品「米→ご飯、もち、せんべい、酒など、各班ごとに様々な日本の食文化を紹介する。	プロジェクターで食品の写真や、調理法などを示す。
2 国語	2年「おにごっこ」	クラスで発案した「おにごっこ」の遊び方や決まりを、相手にわかりやすく、順序よく説明し伝える工夫を考える。	状況やメンバーに応じて遊びやゲームの決まりを工夫する。
	4年「だれもが関わりあえるように」	① 資料「手と心で読む」を読み、だれもがよりよく関わり合うための工夫を調べる。 ② 集めた資料を分類し、整理する。	ポスターセッション形式のプレゼンテーションで発表する。

		③ 大事な事を伝える話し方の工夫をまとめる。	
3 体育	6年「ドッジボール」	ドッジボール等、投げる力を高める運動は得点化を図り、各チームの合計得点を競ったり確かめたりする。	得点できるように、チームで協力して工夫する。
	昼食	日本の食前食後の挨拶の意味を伝える。	国際交流 異文化理解
4 国語	5年「一枚の絵から」	① 前時の学習を振り返る。 ② 5枚の写真の中から選んだ一枚の写真を元に想像力を働かせ創作した物語を発表する。 ③ 起承転結や、書き出しかたの工夫を探しながら、感想を書く。	プロジェクターで、一枚の写真や絵を示し、物語の始まりと結末を連想する。

